



ルカ

シリーズ～弟子道～

2011/11/13

第2世代の弟子たち

- 世界宣教を担った弟子たち
 - パウロ・バルナバ・ルカ・マルコ・シラス・アポロ・アキラとプリスキラ・テモテ……
- 使徒たちは世界宣教に行かなかったのか？
 - ヤコブ：殉教 ヨハネ→エフェソ ペトロ→ローマ マタイ→エチオピア？ トマス→インド？
 - パウロの宣教の模様を知ることができるのは、記録者がいたから

パウロの最強サポーター、ルカ

- パウロを見出し、宣教の働きに導いたのはバルナバだった(～第1回目の宣教旅行)
- 2回目の宣教旅行から、ルカが帯同した
 - 使徒言行録の「わたしたち」という記述
 - 「パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。」16:10②
 - 「わたしたちは、除酵祭の後フィリピから船出し、五日でトロアスに来て彼らと落ち合い…」20:6③
 - 「こうして、わたしたちはローマに着いた。」28:14(ローマ行き)

パウロが頼りにしていたルカ

- ルカは異邦人だった！
- パウロが「協力者」と呼んだ
 - 「わたしの協力者たち、マルコ、・・・、ルカからもよろしくとのことです。」＜フィレモン24＞
- ルカだけはパウロから離れなかった
 - 「あなたも知っているように、アジア州の人々は皆、わたしから離れ去りました。」＜2テモテ1:15＞
 - 「ルカだけがわたしのところにいます。」＜4:11＞

パウロの専属ドクターだったルカ

○ パウロの持病

- 「わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。」
＜2コリント12:7-8＞

○ 決して健康ではなかったパウロが何千kmもの旅を続けられたのはルカのおかげ！

- 「愛する医者ルカとデマスも、あなたがたによろしくと言っています。」＜コロサイ4:14＞

優れた記録者であり宣教者

○ ルカ福音書と使徒言行録を書き残した

- 「敬愛するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈するのがよいと思いました。お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていただきたいのであります。」＜ルカ1:3-4＞
- 「テオフィロさま、わたしは先に第一巻を著して、イエスが行い、また教え始めてから、お選びになった使徒たちに聖霊を通して指図を与え、天に上げられた日までのすべてのことについて書き記しました。」＜使徒1:1-2＞

○ 全人類の救いがどのように始まり、世界に行き渡ったかを、正確かつ大胆に描いた！

ルカによる福音書

- 生き生きと描かれたイエス様
 - 最も長いクリスマス・ストーリー
 - 多くのたとえ話（良きサマリア人・放蕩息子など）
- 弱者の福音書
 - 羊飼ひ・女性・やもめ・取税人・貧しい人・異邦人
- 「家」と「食事」の好きなイエス様
- 「富」に対する警告と正しい使い方
 - 「富んでいるあなたがたは、不幸である」6:24

“アフエシス”(解放)の旅

○「解放」と「自由」を与えるために

- 「捕らわれている人に解放を、... 圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」4:18-19

○「赦し」の大切さ

- 「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」23:34

○「捨てる」ことは「解放される」こと

- 「そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。」5:11
- 富を捨てる＝解放(例:ザアカイ・バルナバ)

ルカに学ぶ弟子道

- 与えられた賜物を生かして
 - 医者としてパウロをサポート
 - 文筆家として福音を記録し、伝える
- 表舞台には出ないが忠実な僕
 - 「ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。」＜ルカ16:10＞
- 彼を解放した救い主を伝えた
 - 当時、医者は危険で汚れた仕事だったので、ルカは奴隷だったのかもしれない